



# 人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和3年 11月 20日

No.9



## 2 学期 人権学習

### 多文化共生社会の実現に向けて



今年度の人権学習は、全学年「**多文化共生社会**」をテーマに学習をしています。今年開催された“東京オリンピック・パラリンピック”が掲げた理念は「**共生社会の実現**」でした。今や「共生社会」を実現していこうという動きは、世界的な流れとなりつつあります。

1年生は読み物教材やDVDを使って、外国人との交流を通して国や民族の違いを正しく理解することを学習しました。そして、違いを認め合い尊重していくことの大切さを学びました。

3年生は、特定の民族や国籍の人々を地域社会から排除しようとする差別的言動、いわゆる「**ハイトスピーチ**」について学習しました。ハイトスピーチは、人としての尊厳を傷つけたり、差別意識を生じさせるだけでなく、人々に不安感や嫌悪感を与えることになる深刻な社会問題です。

今回は **1年生**と**3年生**の授業の様子と感想を紹介します。

#### 1年生



## 1 年 生

☆外国の人は、日本のルールがわかってなくて問題になっているだけだから、教えてあげたらいいのになと思った。

(1年1組 男子)

☆今日の授業で、外国人と日本人の間には見えない壁を自ら作ってしまうことを知ったので、自ら壁を作るんじゃなくて、自ら外国人に寄り添っていくことを現代社会では大切にしたいなと思いました。

(1年1組 女子)

☆人間はどうしても偏見をもってしまうけど、偏見だけで終わらせるのではなく、相手と話すことが大切だと思いました。なぜ偏見をもつのかを考えたとき、相手をよく知らないからというのが、一番の理由だと思いました。相手をよく知るためにも、「会話」をすることが、相手と仲良くなるきっかけになるとわかりました。偏見は、あくまでも「自分の思い込み」ということを、よく頭に入れておきたいです。

(1年2組 女子)





1年生

☆自分の考え、周りの情報に頼りすぎるのは、あまり良くない  
なと思った。なぜなら頼りすぎたり、信じすぎたりすると外  
国人への優しさを持ってなくなってしまうから。今日の学習で、  
「気づくこと」「知ること」「考えること」が大切だと感じた。  
そうすることで、自分たちがどうしたらいいか分かりやすい  
し、相手の立場になって考えられる。また、互いに文化、ルー  
ル、マナーを知ればお互いに関わりやすくなると思ったから。  
そして外国人だけではなく、いろいろな人に対して、何も知  
らないまま決めつけないようにしたい。また、相手のいいところに気付けるようにしていきたい。

(1年3組 男子)

## 3年生

3年生は「人権作文」からの抜粋・編集です。

☆「なぜこんなことをするのか」それが僕の感じたことだ  
た。僕は今年、人種や出身国、民族、宗教等を理由として、  
それに属する人たちに攻撃、脅迫、侮辱する発言や言動であ  
るヘイトスピーチについて学習した。だが、なぜヘイトスピーチをする人がいるのかが全く分からず、  
自分の中でモヤモヤしたので調べてみた。すると、自分たちと異なることや、戦時中は敵であったと  
いう考え方が残っているということが理由としてあった。

確かに、周りが自分と違うと不安になるけど、それを理由にして異なるものに対して攻撃すること  
によって自分の不安を打ち消すのはひどいと思う。そして、人を傷つけてまでするのは、さすがに自  
分勝手すぎると思った。

同じく、戦時中では敵だったという考え方が今まで続いていることは理解できるが、もう戦争は終  
わっているし、日本に来る外国人全員が僕達に悪意を持っているということは間違いだということは  
理解してほしい。戦時中の人たちが怖い思いをしたのがあったから、今時代は変わった。国のため、  
戦争に勝つため行動するのではなく、人のため、世界のために行動するべき時代になったのだ。

だからこそ、目の前の現実を一面的に捉えるのではなく、新しい現実を自ら見つけに行ってい  
ほしいし、他国の人と関わって新たな考え方を知ったりして、豊かな考え方ができる人になってほしい。初  
めは不安かもしれないが、仲良くなれたり、自分の考えを広げたりしてくれる人に必ず出会える。



3年生

3年生



わかびな3年生



新しい考え方や文  
化を知ること、あ  
なた自身も成長で  
きるし、分かり合え  
ると思う。

(3年1組男子)

